



YAZAKI GROUP

会社案内

【お問い合わせ先】

矢崎総業株式会社 コーポレートコミュニケーション部

弊社 Web サイトはこちらからアクセスできます

2025.2.17 第1版



社是

「世界とともにある企業」

「社会から必要とされる企業」

経営基本方針

矢崎グループは社是実現のため、以下の方針に従い活動する。

1. 新しい発想とたゆまぬ努力で企業効率向上をはかり、世界中のお客様に最高の価値を提供する。
2. 法を守り、地域の文化を尊重した企業活動を行い、社会発展に貢献する。
3. 環境／安全を最優先とした企業活動を行い、豊かな未来社会実現に貢献する。
4. オープンでフェアな取引に努め、共存共栄を図る。
5. 人を大切にし、個人／チームワーク能力を最大限引き出せる企業風土を育て、個人の夢に貢献する。

会社概要 (2024年6月20日現在)

社名 矢崎総業株式会社

設立 1941年10月8日

代表者 代表取締役社長 矢崎 陸

所在地 本社
〒108-0075
東京都港区港南一丁目8番15号Wビル7階

Y-CITY
〒410-1194
静岡県裾野市御宿1500番地

資本金 31億9,150万円
(矢崎総業(株)は非上場企業です。)

グループ会社 矢崎計器株式会社(1950年設立)
矢崎部品株式会社(1959年設立)
矢崎エナジーシステム株式会社^{※1}

グループ法人^{※2・3} 国内 45法人
海外 95法人
計 140法人

グループ従業員^{※3} 国内 17,628名
海外 212,864名
計 230,492名

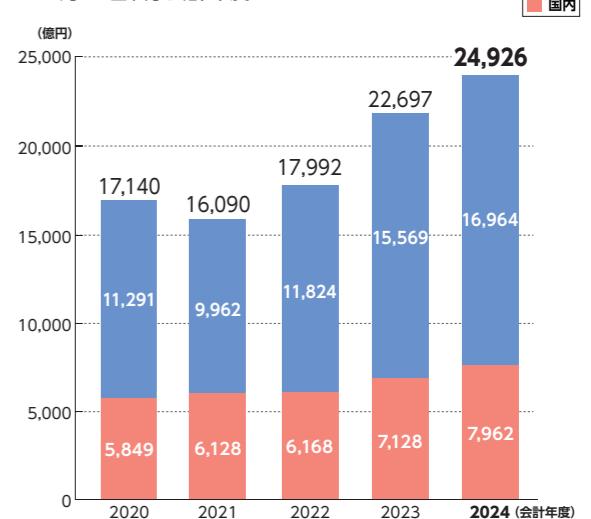
※1 1963年矢崎電線株式会社として設立、2012年商号変更

※2 法人数・従業員数は、矢崎総業株式会社と国内外の連結子会社を対象としており、持分法適用子会社、連結除外子会社、関連会社、関係の財団法人は除外しています。

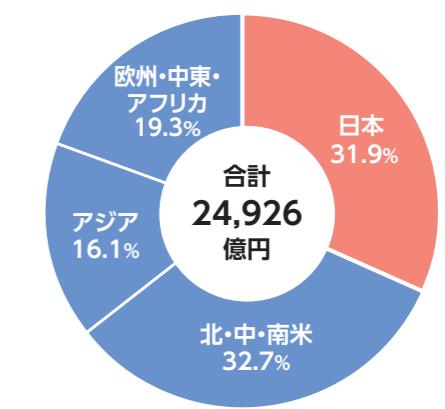
※3 従業員数は、正社員、準社員、受入出向者、嘱託、アンカー、エルダーを対象としています。なお、受入出向者は、当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含みます。

連結売上高推移

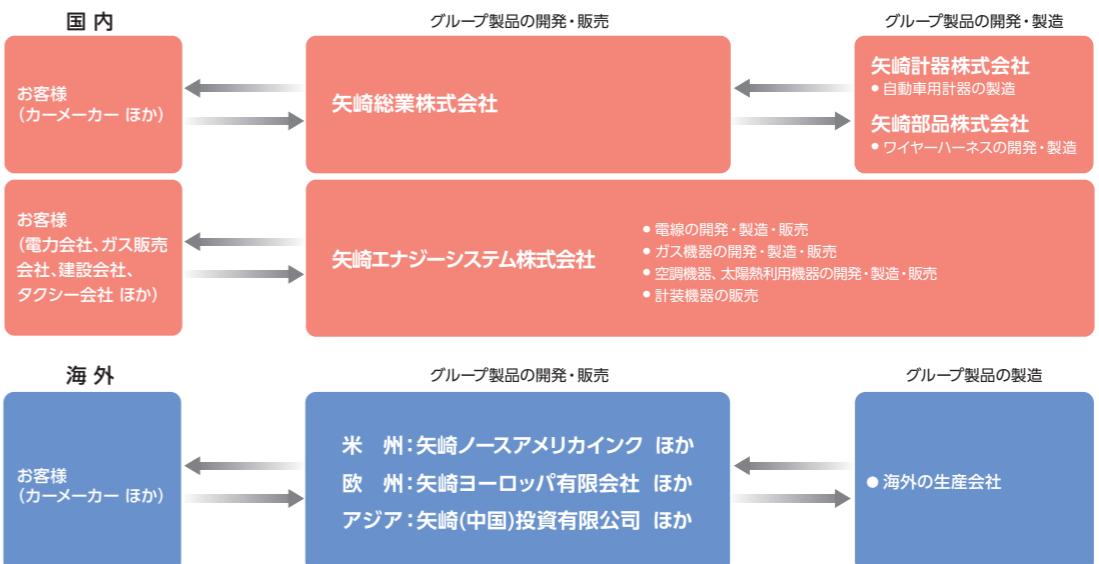
※ 6月20日終了会計年度



地域別連結売上比率



矢崎グループの開発・製造・販売体制



海外拠点

(2024年6月20日現在)

46の国と地域 140法人
従業員 230,492名



欧州・中東・アフリカ
23カ国 30法人
従業員 42,615名

アジア
11の国と地域 37法人
従業員 81,712名

北・中・南米
11カ国 28法人
従業員 88,537名

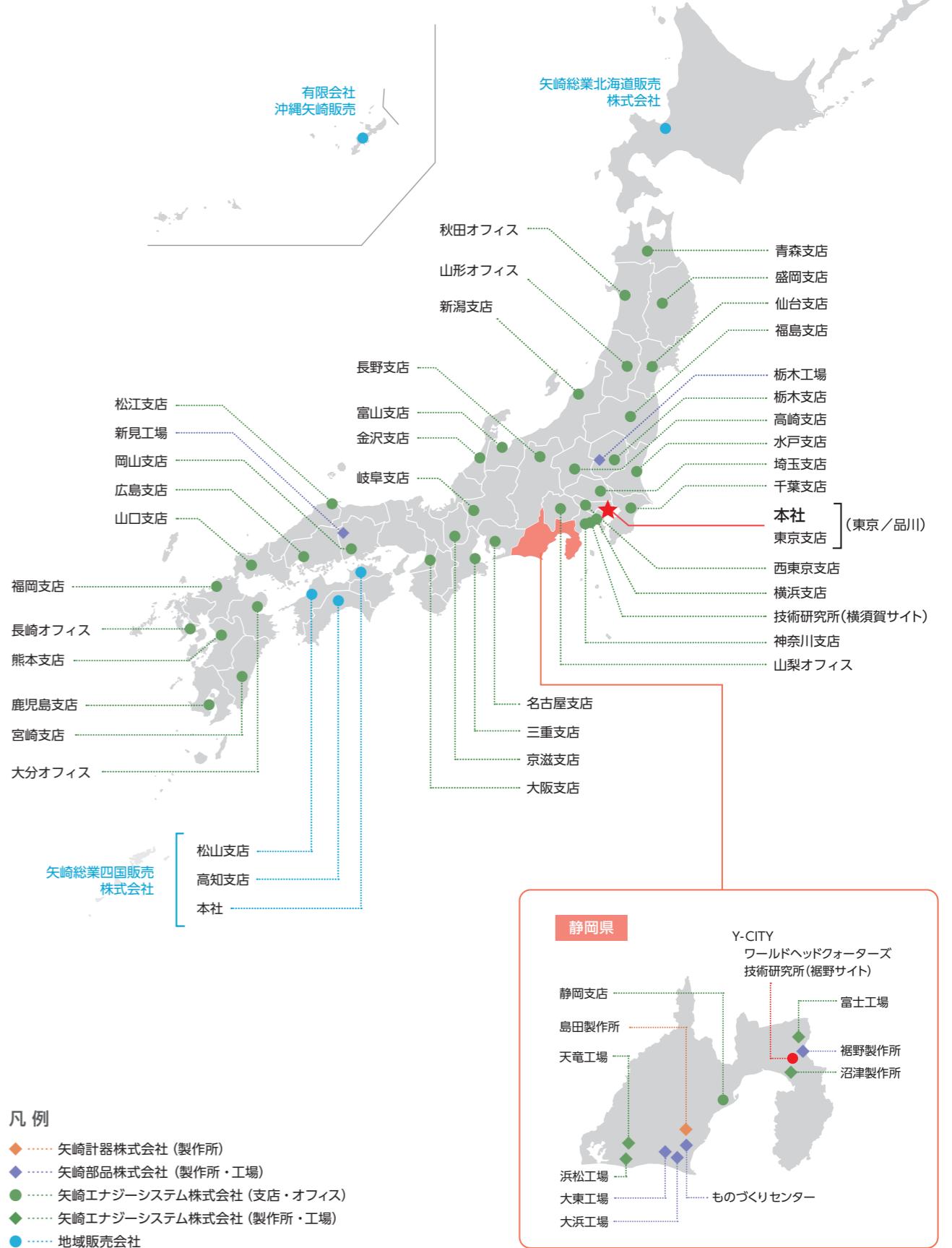
海外進出の歩み

1960～	1990～	2000～	2010～	2020～
タイ (1962)	ポルトガル (1986)	イタリア (1991)	コロンビア (1995)	モロッコ (2000)
アメリカ (1964)	★ ニュージーランド (1986)	★ 西サモア <small>現: サモア</small> (1991)	アルゼンチン (1995)	エルサルバドル (2006)
★ オーストラリア (1965)	カナダ (1987)	ベルギー (1991)	インド (1997)	ポーランド (2011)
★ スイス (1966)	スウェーデン (1988)	スロバキア (1994)	★ リトアニア (1997)	ブルガリア (2006)
台湾 (1968)	中国 (1988)	シンガポール (1995)	★ オランダ (1999)	南アフリカ (2001)
フィリピン (1973)	西ドイツ <small>現: ドイツ</small> (1988)	トルコ (1995)	フランス (1999)	ロシア (2012)
イギリス (1980)	スペイン (1988)	ベトナム (1995)	クロアチア (1999)	チュニジア (2009)
メキシコ (1982)	インドネシア (1989)		ウルグアイ (2005)	スロベニア (2012)
				エジプト (2023)
				パラグアイ (2013)
				セルビア (2016)
				ミャンマー (2019)

※ 進出国・地域数は、法人がある国・地域に加え、連結対象子会社以外の関連会社等がある6か国(カナダ、スロベニア、スウェーデン、クロアチア、南アフリカ、韓国)を含みます。
※ 法人・従業員数は、矢崎総業株式会社と国内外の連結子会社を対象としており、持分法適用子会社、連結除外子会社、関連会社、関係の財団法人は除外しています。
※ 従業員数は、正社員、準社員、受入出向者、嘱託、アンカー、エルダーを対象としています。なお、受入出向者は、当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含みます。

国内拠点

(2024年6月20日現在)



クルマをつなぐ

ワイヤーハーネスを核とした EEDDS 製品

矢崎グループの自動車部品は、EEDDS の考え方に基づき開発されています。矢崎グループは、その核となるワイヤーハーネス(以下 W/H)の製造を1939年から開始し、現在では世界トップクラスのシェアを占めています。W/Hは、クルマの神経・血管とも例えられる電線の束で、クルマの隅々に張り巡らされています。近年のクルマは、走る、曲がる、止まるといった基本性能だけでなく、安全性や利便性を実現するために、数多くの電気・電子機器が使用されています。W/Hはこれらを確実に「つなぐ」役割を担い、電力を供給し、信号と情報を伝送します。さらに電動車両に対応した高電圧 W/Hも、世界に先駆けて実現しました。

そのほか、人とクルマを「つなぐ」メータやヘッドアップディスプレイをはじめ、多種多様な製品をシステムとして提供しています。

未来のクルマは、EEDDS がつなぐ。

EEDDS — この技術は、クルマの高機能化に伴う高度な電装システムを実現するために、クルマの中の電力、信号を最適に分配しつつなぐ「EEDDS」と、車内外のさまざまな情報を最適な方法でドライバーに伝える「Display (HMI)」とで構成されています。この EEDDS と HMI を融合させた EEDDS は、クルマの中だけではなく、クルマと人、クルマと外もつないでいます。

EEDS
Electrical / Electronic Distribution System

HMI
Human Machine Interface

EEDDS
Electrical / Electronic Distribution & Display System



浮遊ディスプレイメータ



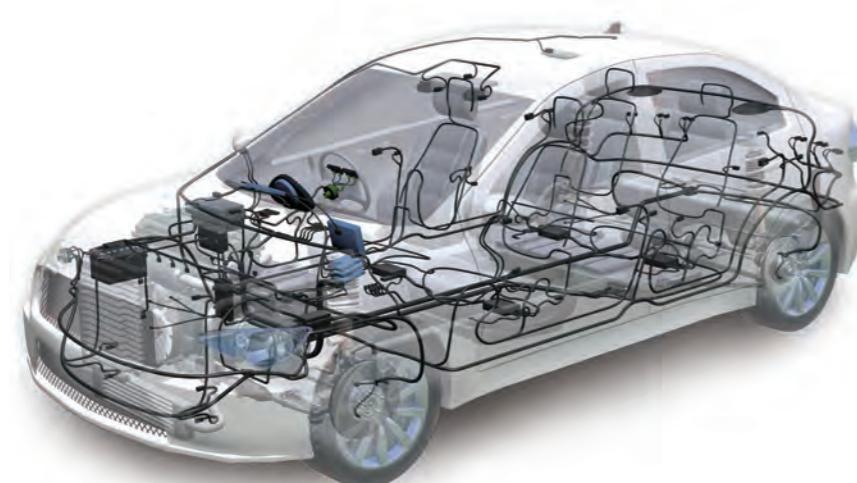
デジタルメータ



フルグラフィックメータ



大型ディスプレイメータ

セル電圧検知機能統合
バッテリバスバーモジュール

高電圧ジャンクションボックス

DC/DCコンバータ
高電圧-12Vバックアップ電池
制御ユニット

電力、信号と情報伝送の最適化を実現する4レイヤーネットワークシステム

● 走行系ネットワーク

エンジンやブレーキなどのクルマの基本機能を制御する機器をつなぐ

● 情報系ネットワーク

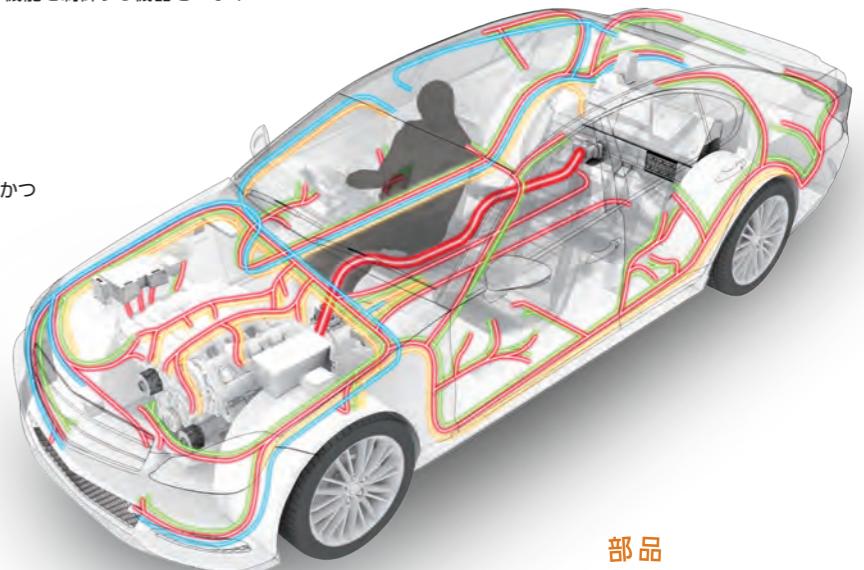
車内外の情報を扱う機器をつなぐ

● ボディー系ネットワーク

パワーウィンドウやエアコンなどの利便かつ快適環境を提供する機器をつなぐ

● 電源ネットワーク

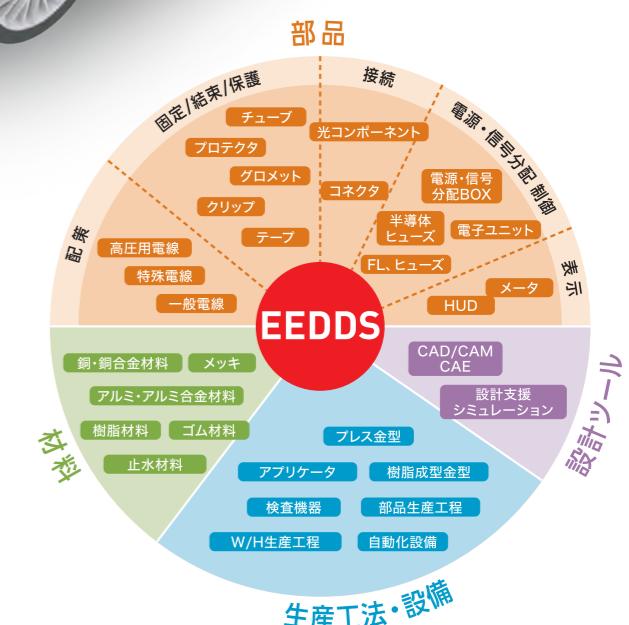
モータやランプなどに電力を供給、制御する機器をつなぐ



材料の開発から製品の製造まで

矢崎グループは、材料の開発から、設計、生産、工法、最終製品の製造まで、すべての工程を自社で行うことで、ワイヤーハーネスの特性に応じた製品開発を実現しています。

新素材の開発により、新しい価値や新製品を生み出し、安全・快適なクルマ社会に貢献します。



素子内蔵コネクタ



アルミ平型配素材

導電性ナノインクを用いた
印刷回路体

高柔軟電線

くらしをつなぐ

電線

熔銅・コンパウンド(原材料)から製品まで一貫生産しています。各種一般電線の他、現場での省施工を考えた「やわらか」電線シリーズ、分岐ケーブル・ユニットケーブル、また環境に配慮したエコロジーケーブルなど、お客様の多様なニーズに合わせた商品を提供しています。



ガス機器

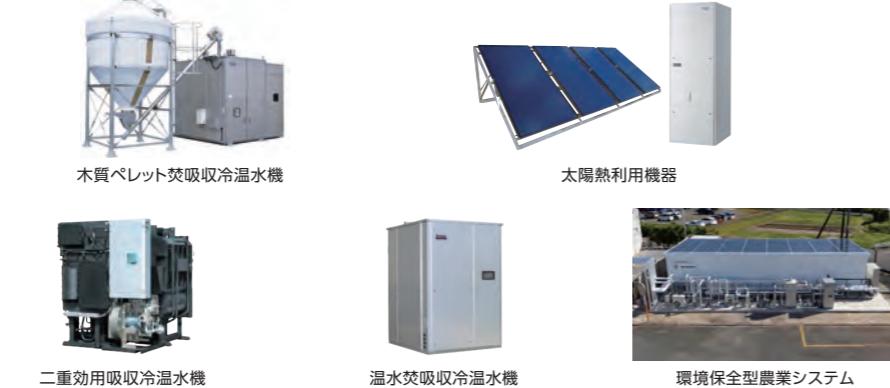
ガスマータや警報器、各種供給機器を通して、快適なガスライフを支え、ガス利用者の安全・安心を実現します。

LPWA 無線機により、つながるガスマータとして更なる利便性向上をご提案し、全国に配置された営業拠点を通じガス体エネルギー市場全体に対して事業を展開しています。



環境システム機器

環境・省エネルギー提案を通じて、持続可能な「地球環境と資源節約循環型社会」への貢献を目指し、「空調関連事業」「カーボンニュートラル事業」の2つの事業を展開しています。



計装機器

「クルマとインフラをつなぐ」というコンセプトのもとに、車社会が抱える「安全・安心」「環境・省エネルギー」「効率・利便」という問題を解決する計装システム製品の提供を通じて、安全で低炭素なスマートコミュニティ社会の実現に貢献しています。



社会をつなぐ

「社会から必要とされる企業」の実現を目指し地域と共に社会課題と向き合い、持続可能な地域密着事業を行っています。

環境・リサイクル

■紙発泡緩衝材「アローエコ」



介護

グループ内5社で展開

- 通所介護
- 訪問介護・看護
- 介護付有料老人ホーム
- グループホーム
- 居宅介護支援事業所



農業・食品

■農作物生産

■食品加工



もり森林づくり

■地拵え

■苗木の植栽



AI デジタル

矢崎グループは、モビリティデータ・工場データ・エネルギーデータ等の膨大なビッグデータを保有しています。それらを有効活用するため、社内外からAI・デジタルに知見のある人材を集めて2020年に創設されたのがAI・デジタル室です。膨大なデータを高度なAI技術で生成し、社会に役立つ新たなサービスとして提供します。

TRUE SAFE

デジタルタコグラフにより20年以上も積み上げてきた3,000億件にも上るファクトをベースに、これまで気づくことができなかつた危険につながるクセまでもAIにより高度に解析。常に安全意識の高い運転をしているかを診断・確認することで安全運転を習慣づけ、交通事故のない安心安全な社会を目指します。



矢崎の画像アノテーションサービス

矢崎の画像アノテーションサービスは、グローバルに展開する矢崎グループのリソースを活用し、AI開発におけるアノテーション(=教師データの作成)を代行します。80年を超える製造業で培った品質管理体制と厳格なセキュリティ管理のもと高精度なデータを提供することで、AIの精度向上や開発の効率化に貢献します。



人材育成

国内派遣留学制度

実務を2年以上経験した従業員を対象として、学部・修士・博士課程に社会人派遣留学し、将来の技術者・研究者を育成しています。これまで多くの従業員が学び、先端工学の理論と実践の成果を自らの実務に活かしています。



留学先キャンパス外観



実習風景

国内外MBA派遣留学制度

国内外のビジネススクールに留学する制度で、経営知識の習得に加え、異文化や習慣の違いに対する対応力を磨きます。異文化の受容、言語の習得、人とのつながりなど、外国人と生活をしながら、業務をこなすためのスキルを、時間をかけて体得します。



海外MBA派遣留学先にて

矢崎サマーキャンプ

国内サマーキャンプ

従業員の子女（小学5・6年生）を対象に、団体生活を通じて、規律とチームワークの大切さを学ぶとともに、自然とのふれ合いを通して環境の大切さを感じることを目的としています。



富士山ハイキング

海外サマーキャンプ

従業員の子女（中学2年生）を対象に、矢崎グループの海外拠点のある地域へ赴き、日本と外国との違い（社会・文化・習慣）について正しく理解し、学ぶことを目的としています。



地元の中学校との交流 (ベトナム)

サマー・キャンプ・イン・ジャパン

海外拠点の従業員の子女（14歳）を日本に招き、日本の歴史や文化・習慣の体験を通して自国との違いを理解してもらい、参加各国メンバーとの異文化交流により国際的な視野を広めることを目的としています。



東京散策

海外トレーニー制度

最長1年間、海外拠点での現場研修や語学研修を通して、新しい視点やグローバルチームでの業務の進め方、コミュニケーションについて学びます。さまざまな年代とキャリアを持つ従業員が、個別の目標にチャレンジしています。



研修先 (アメリカ) でのプレゼンテーション



派遣先事業所のクリスマス会で漢字の名前をプレゼント

沿革

「海外進出の歩み」は3頁を参照

1920-50年代

日本のモータリゼーションの発展とともに

1924

- ・5月27日 創業社長・矢崎貞美が15歳で長野県諏訪郡中洲村（現：諏訪市中洲）から上京、日本橋「森田商会」入社



1929

- ・創業社長・矢崎貞美が個人経営「ミツヤ電線」を創業、「自動車用組電線（以下W/H）」販売開始

1938

- ・合資会社矢崎電線営業部設立

1939

- ・東京都荒川区に「尾久工場」開設、一般電線・W/H生産開始



1941

- ・矢崎電線工業株式会社設立、合資会社矢崎電線営業部吸収合併



1949

- ・日本初の「自動車用ビニル電線」発売

1950

- ・東洋時計株式会社から自動車メーター部門を分離、「日本自動車計器株式会社」設立、東京都港区芝浦でメーター生産開始



1957

- ・日本初の「回転式溶解炉（トマス炉）」を「沼津工場」に導入

1959

- ・矢崎部品株式会社設立
・日本自動車計器株式会社を「矢崎計器株式会社」に社名変更

1990-2000年代

生産拠点の海外展開と新規事業の創出

1993

- ・F.I.A.アドベンチャースクール初開催



1995

- ・世界初の「アナログ虚像表示メーター」生産開始

1996

- ・農業事業開始

1998

- ・静岡県裾野市に「Y-CITY」開設、本社機能を集約

1999

- ・業界初のデジタルタコグラフ「DTG1」発売

2003

- ・業界初のビニル電線・ケーブルの全面鉛フリー化

2004

- ・環境・リサイクル事業開始

2006

- ・Y-CITYにヤザキケアセンター「紙ふうせん」設立

- ・高知県高岡郡梼原町「森林ボランティア協働の森づくり事業」に初参加



2008

- ・世界初の木質ペレット焚吸式冷温水機「バイオアロエース」発売

2009

- ・業界初のLPガス用超音波式ガスマーカー「U-Smart」発売

1960-80年代

グローバル化を加速



1960

- ・日本初のタコグラフ（運行記録計）「TCO-8」発売



1961

- ・木製ドラム、ビニルテープの生産と肩線処理開始

1962

- ・タイ・バンコクに「泰矢崎電線株式会社」設立

1963

- ・矢崎電線工業株式会社を「矢崎総業株式会社」に社名変更、製造部門を「矢崎電線株式会社」として分離設立



1964

- ・矢崎資源株式会社設立
・玉川学園と連携し、通信教育制度「富士高校」設立（～1973）

1966

- ・アメリカ・シカゴに「アメリカ矢崎コーポレーション」設立



1967

- ・スイスに合弁会社「矢崎エリコン・コーポレーション」設立
・「タクシーメーター」発売

1970

- ・吸収冷温水機「アロエース」発売

1977

- ・国内サマー・キャンプ初開催

1982

- ・矢崎科学技術振興記念財団設立
・豊田工业大学留学制度開始

2010年代

100年に一度の大変革の時代に
サステナビリティ経営へ

2010

- ・東京電力株式会社、株式会社デンソーと共同開発した「エコキュート・ソーラーヒート」発売
・やわらか電線600Vシリーズ発売



2012

- ・矢崎エナジーシステム株式会社設立
・静岡県牧之原市に「ものづくりセンター」開設
・業界初の「ポータブルLPガス発電システム」発売



2014

- ・世界初のW/Hで使われる銅資源の「Car to Carリサイクル技術」をトヨタ自動車株式会社、豊田通商株式会社と共に開発

2016

- ・ASEAN地域において「IoTテレマティクスサービス」を開始



2018

- ・「一般財団法人矢崎きずな基金」設立

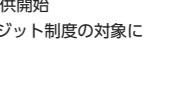
2019

- ・業界初のクラウドサービス「TAXI-Cloud」発売



2022

- ・運送事業者向け安全運転ソリューション「TRUE SAFE」の提供開始
・国内初の大型トラックへのデジタルタコグラフ装着がJ-クレジット制度の対象に



2023

- ・東京都港区港南に本社移転